

単元名 (選択単元)くらしをささえる水

配当時間 11 時間

- 単元の目標 (1) 飲料水を供給する事業は、安全で安定的に供給できるように進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解するとともに、見学・調査したり、飲料水の確保に関わる対策や事業について調べたりして、まとめることができる。
- (2) 地域に届けられる供給の仕組みや経路、地域の人々の健康な生活との関連に着目して、飲料水の供給のための事業の様子を捉え、それらの果たす役割を考えたり、絵地図などに表現したりすることができる。
- (3) 飲料水確保に関わる対策や事業に問題意識をもち、意欲的に追究するとともに、水を大切な資源と捉え、自分たちが協力できることなどを考えようとする。

標準的な展開例

04030104_001

| 学 習 活 動 | 留 意 事 項 など |
|--|--|
| <p>1～2 日常生活を振り返り、水がどこでどのように使われているのか考え、単元の学習問題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 日常生活で水を使う場面について話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 炊事・洗濯・風呂・トイレ ○ どれぐらいの水の量を使っているのか予想する。 ○ 水道の水にお金がかかる理由を考える。 ○ 市町の人口と給水量の移り変わりのグラフを見て、気付いたことを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 人口が増えるとともに、給水量も増えている ・ 家の中でもいろいろな場所で水を使っている ・ 学校では教室の前にも水道があってすぐに使える ○ 学校の中の水の通り道を調べる。 <p>★わたしたちが使う水はどのようにして送られてくるのだろう</p> <p>3 水の通り道について予想し、学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 水がどのようにして送られるのかについて予想し、話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 近くの川の水を使っているのかな ・ 家と家が水道のパイプでつながっていて送られてくる ○ 予想を基にして、学習計画を立てる。 <p>調べる内容…川の水を貯める貯水池の役割、ダム、浄水場の施設や浄水場で働く人の様子や工夫 調べる方法…教科書、副読本、インターネット、ビデオ教材、図鑑など 表現の仕方…絵地図、新聞、標語</p> <p>4～6 浄水場の見学・調査を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 浄水場の見学の計画を立てる。 ○ 浄水場で働く人々の工夫や努力などについて聞き取り調査をする。 ○ 浄水場の見学をして、分かったことや気付いたことを見学メモに記録する。 <p>7 浄水場で働く人々の工夫や努力、私たちの市(町)の水道事業のあらましについてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 見学を通して学んだことを発表し合う。 ○ 暮らしに必要な水を供給する仕組みや対策について、考えたことを発表する。 <p>8～10 絵地図を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 調べて考えたことを基に、絵地図を作成する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日の生活で使う水の量と使い方を調べさせ蛇口をひねるだけで出てくる水にもお金がかかっていることに気付かせる。 ・ 生活の中の様々な場面で水を使っていることや、蛇口があればいつでも水が出てくることの便利さに気付かせる。 ・ 「水道使用量の明細」を基に、使用量の多さや料金に気付かせる。 ・ 何気なく使っている水はどこかで作られ、意図的に送られているものであることに気付かせる。 ・ 作業帳「4. くらしと水」を活用する。 ・ グラフの読み取り方を確認しながら、人口と給水量との関係に気付かせる。 ・ 給水量の変化の理由を考え、生活の仕方が深く関わっていることを押さえる。 ・ 蛇口の向こうがどのようにつながっているのか、水の通り道を逆からたどらせる。 ・ 給水タンクやポンプ室、止水栓などを見て、水が様々な所につながり、外へとつながっていることを押さえる。 <p>【評】水の送られ方について話し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 山から流れる川の水を利用していることや、水の量を調整し備蓄するためにダムや貯水池があることなどを、地図を見ながら気付かせる。 ・ 作業帳「5. 水の旅」を活用して、知多半島全域の農業用水や工業用水は愛知用水から供給されていることに触れる。 ・ 浄水場が果たす役割や、働く人々の工夫や努力、思いなどに着目して見学させる。 ・ 施設内で気を付けることを事前に押さえておく。 <p>【評】飲料水が作られる流れや設備を見学する活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 浄水場で働く人々の工夫や努力により、安全な飲料水の確保を計画的に行っていることに気付かせる。 ・ 飲料水が生活に与える影響を具体的な事例で紹介し、生活に水は欠かせないことに気付かせる。 ・ 見学した際に、働く人たちが行っていた仕事内容について思い出させ、発表させる。 <p>【評】安全な飲料水の確保に関わる仕組みや対策について考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の自分たちの生活に生かせるよう、これまでの学習を振り返り、まとめさせる。 ・ ノートや見学資料、提示した資料などで調べ |

- 11 単元のまとめをし、学習の振り返りをする。
- 学習したことを基に、今後の水の使い方について話し合う。
 - ・たくさんの人々の働きのおかげで安心・安全な水が飲むことができる
 - ・水を大切に使い、無駄遣いをしないことが環境を守ることになる
 - 作成した絵地図を校内に掲示し、水を大切にするように呼び掛ける。

たことを参考にまとめさせる。
 【評】絵地図を作成する活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

・校内で呼び掛けることで、生活に欠かせない水に対しての意識を高めさせる活動とする。
 【評】今後の水の使い方を話し合う活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】

本単元では、飲料水、電気、ガスの中から飲料水を選択し、安全で安定的な飲料水の供給を進め、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを捉えさせたい。
 また、本単元と関連させて今後の単元「原野に水を引く」では愛知用水や愛知用水の建設に携わった地域の偉人に触れることも可能である。